

大野城心のふるさと館年報

2019

—平成 31 (2019) 年度—

—歴史と、まちと、人と、想いと—「つなぐ、つながる。」
市民ミュージアム



大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

大野城心のふるさと館年報

2019

—平成 31 (2019) 年度—

目次

1 大野城心のふるさと館概要

- 1-1 施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 1-2 組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

2 展示

- 2-1 常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 2-2 ミニテーマ展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 2-3 大野城コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 2-4 特別展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

3 教育普及

- 3-1 学校連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 3-2 体験型事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 3-3 団体利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 3-4 まち歩き事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 3-5 講座・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- 3-6 ふるさとラボ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- 3-7 研修生等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

4 催し・施設貸出など

- 4-1 にぎわいづくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
- 4-2 つながる事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- 4-3 施設貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
- 4-4 ここふるショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

5 他機関との連携・交流

- 5-1 大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定・・・・・・・・・・・・・33
- 5-2 視察等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

6 市民・地域との連携

- 6-1 ふるサポの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- 6-2 友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- 6-3 山城楽講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

7 情報発信・広報

- 7-1 情報発信・広報ツールの活用 36
- 7-2 発行物 36

8 資料収集・貸出

- 8-1 資料の収集 37
- 8-2 資料の貸出 37

9 文化財調査・整備

- 9-1 文化財の調査 39
- 9-2 文化財の指定 40
- 9-3 文化財の整備 41

10 施設管理

- 10-1 I P M管理 42
- 10-2 危機管理 42

11 統計

- 11-1 施設利用状況 43
- 11-2 来館者アンケート 44

1 大野城心のふるさと館概要

1-1 施設

- (1) 名 称 大野城心のふるさと館
- (2) 所在地 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号
- (3) 設置目的 郷土の歴史、民俗等に関する資料の保存及び活用により、市民の郷土の歴史に対する理解を深め、歴史の継承を図るとともに、地域資源を活用した市民の交流促進及び地域の活性化に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成30(2018)年7月21日
- (5) 敷地面積 2,284.62㎡
- (6) 建 物 建築面積 1,333.20㎡ / 延床面積 3,417.15㎡
鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
- (7) 開館時間 午前9時～午後7時
- (8) 休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日)、12月28日から1月4日
- (9) 入 館 料 無料 ※特別展は有料
- (10) 案内図



西鉄
西鉄 福岡(天神)駅から急行約12分 ◎西鉄春日原駅より徒歩約12分
J R
J R 博多駅から快速約13分 ◎J R大野城駅より コミュニティバスまどか号 大城ルート乗車 「まどかぴあ」下車すぐ
自動車
◎九州自動車道大宰府IC 大野城方面出口より約6分 ◎福岡都市高速大野城出入口から 大野城方面約10分 ※駐車場は市役所駐車場(無料)を利用

(11) フloor図

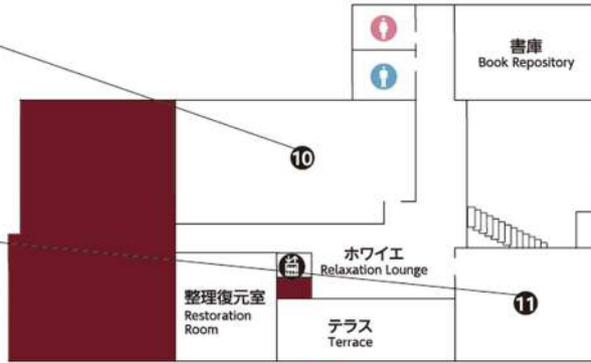
3F 10 企画展示室
Special Exhibition Room

当館や他館の資料を展示する特別展を行います。



3F 11 ふるさとラボ
Local History Room

目加田ライブラリーや郷土資料の閲覧など、より詳しい情報を調べることができます。



3F 調 Shirabe-Ba



2F 7 牛須須器ファクトリー
Ushikubi Sue Ware Hands-on Exhibition

須器を焼く窯や工房を再現。牛須須器窯跡の概要がわかる展示です。

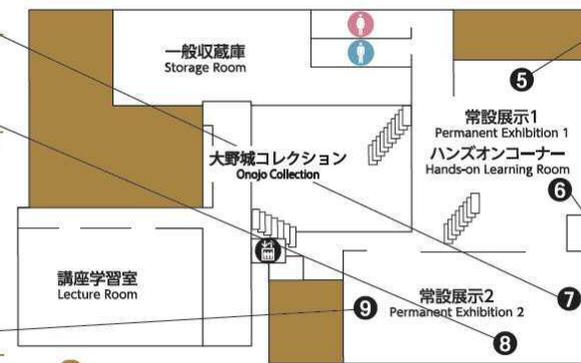
2F 8 水城・大野城シアター
Mizuki & Ono Castle Ruins Theater

シアター映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、水城・大野城ができた時代に迫ります。



2F 9 ミニテーマ展示
Mini Exhibition

郷土資料や特別展などの内容に合わせた展示を行います。



M2F

2F 学 Manabi-Ba

2F 5 大野城タイムライン
Onojo Timeline

旧石器時代から現代まで、大野城市の歴史がわかる展示です。



2F 6 百間石垣ウォール・クライミング
Hyakken Stone Wall Ruins, Climbing Wall

大野城跡の百間石垣の一部を再現。隣には高さ7mのクライミングコーナーがあります。(ご利用には初回登録と当日予約が必要です。)



1F 3 大野城ダイナビジョン
Onojo Dynavision

大野城市の歴史や最新の観光情報をお知らせのほか、たのしいミニゲームもあります。



1F 4 ここふるショップ&カフェ
Museum Shop and Café

オリジナルグッズや地域の特産品、推奨品などを取り扱っています。カフェでは市内の団体や飲食店による日替わりランチを提供しています。



1F 遊 Asobi-Ba

1F 1 こども体験ギャラリー
Kids History Experience Room

ボールプールやすべり台で未就学児が遊べるコーナーやおりがみ・普遊びなどでみんなが遊べるコーナーがあります。(土日はワークショップも開催しています。)



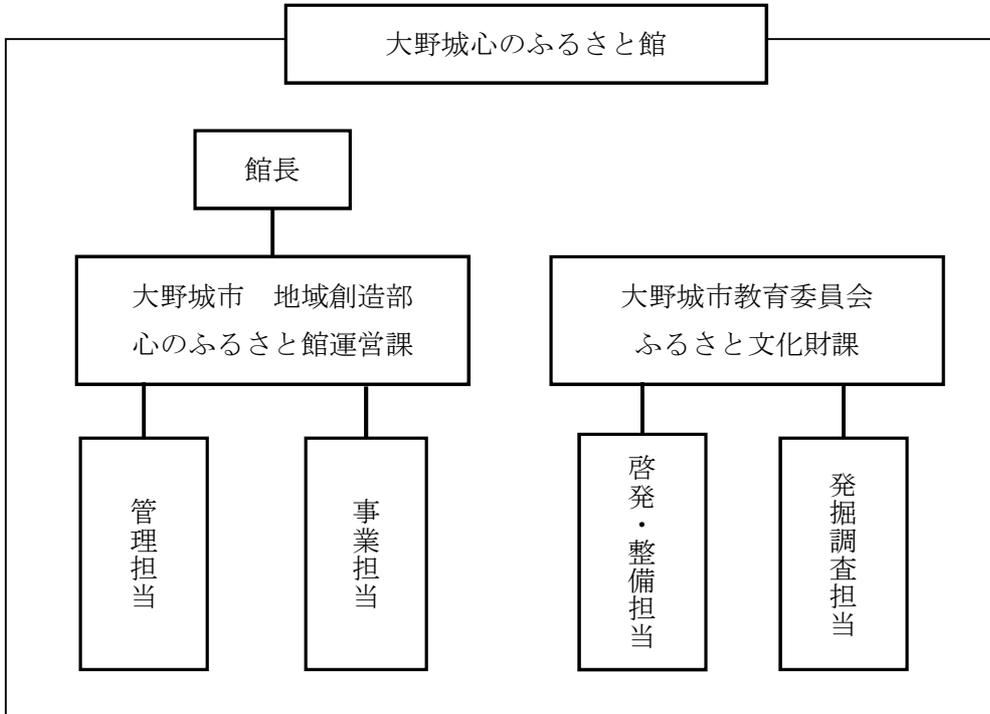
1F 2 昭和のくらしコーナー
Lifestyle Exhibition of the Showa Era

市内の農家をモデルに、昭和20～40年代のなつかしの暮らしを再現。定期的に展示替えイベントも行っています。



1-2 組織・職員

(1) 運営体制（組織図）



(2) 平成 31 (2019) 年度の職員

館 長	赤司 善彦	大野城市教育委員会	ふるさと文化財課
大野城市地域創造部	心のふるさと館運営課	課 長	石木 秀啓
課 長	岩下 剛司	【啓発・整備担当】	
【管理担当】		参事補佐兼係長	佐藤 智郁
参事補佐兼係長	島 朋宏	参事補佐兼係長	林 潤也
再任用係長	武下 龍也	主 査	徳本 洋一
主任主事	鳩山 剣志	主任主事	秋穂 敏明
主 事	松山 明子	主 事	鮫島 由佳※
【事業担当】		嘱託職員	山村 智子※
参事補佐兼係長	早瀬 賢※	嘱託職員	西村 友美
主任主事	小野 綾海	嘱託職員	浅井 毬菜※
主任技師	龍 友紀※	嘱託職員	永松 綾子
主 事	高尾 愛	【発掘調査担当】	
主 事	木船 育世	参事補佐兼係長	上田 龍児
主 事	今村 杏奈※	技 師	山元 瞭平
嘱託職員	舟山 良一※	嘱託職員	澤田 康夫
嘱託職員	白井 夕美子※	嘱託職員	木原 堯
嘱託職員	主税 和賀子※		
嘱託職員	原口 香那		
嘱託職員	高橋 俊介		

※学芸員

2 展示

2-1 常設展示

大野城タイムライン

旧石器時代から近現代までの市内の遺跡から出土した遺物や市民からの寄贈品を通史的にコンパクトに展示しており、タッチパネルにより各時代の詳細な解説をみることができる。

《展示資料》貨布、三角縁神獣鏡、人面墨書土器、中国産白磁碗 など

水城・大野城シアター

国の特別史跡である水城跡・大野城跡を模型や映像、プロジェクションマッピングを使ってわかりやすく紹介している。ペンライト型の照明で模型を照らすと古代の山城から中世の山城、現代の発掘調査までの歴史のシーンを見ることができる。

《展示資料》水城・大野城全景模型、水城西門・太宰府口城門・増長天礎石群・百間石垣再現模型

善一田古墳群と乙金地区遺跡群

市北東部の乙金地区の区画整理に伴い発見された善一田古墳群を中心とした乙金地区遺跡群から出土した資料を「モノづくり」と「交流」をキーワードに展示し、不定期に展示替えを行っている。

《展示資料》鉄刀、新羅土器 など

牛頸須恵器ファクトリー

国史跡である牛頸須恵器窯跡の窯や工房を再現し、生産された須恵器などの資料を展示している。

《展示資料》牛頸須恵器窯跡出土須恵器、へら書き須恵器（福岡県指定文化財）

収蔵展示

一般収蔵庫の壁面を利用して土器や石器、民具などを展示。設置されたLEDによりカラフルな照明演出をかけることができる。季節やテーマに合わせ、年に2回の展示替えを行っている。

昭和のくらしコーナー

大野城市内の民家をモデルに昭和のくらしを復元。壁の変更、土間から板間への変更、小物の入れ替えなどにより、昭和20年代、30年代、40年代の3時代に展示替えが可能で、定期的に展示替えを行っている。来館者は家屋に入り、展示品に触れて学ぶことができる。

2-2 ミニテーマ展示

地域の歴史や身近な文化財への関心を深めること、郷土への愛着形成などを目的に、市に関連する展示や特別展の内容に合わせた展示などを行っている。

平成最後の平成展

- 会 期 平成 31 年 3 月 16 日（土）～令和元年 5 月 26 日（日）
- 内 容 元号「平成」が発表され 31 年。昭和に続く新しい元号案を考案した学者のひとりである大野城市在住の目加田誠氏の蔵書等の中から発見された元号案のメモとともに、平成の出来事や流行した品々を展示して「平成」という時代を紹介した。
- 展示資料 目加田誠氏元号案メモ、目加田誠の使用した文房具、元号の起源・過去元号表・過去元号案など（平成の品々）ポケベル・ワープロ・たまごっち・ゲーム機

関連事業

【新元号令和へのおもい】

来館者が記入した新元号令和への思いをパネルに掲示。「平和な時代」、「災害のない時代」などの希望を語る言葉が 48 名から寄せられた。

【なりきり写真コーナー】

ミニ展示コーナーの一角に「平成」と「令和」と書いた紙と「平成」・「令和」の発表時の小淵官房長官・菅官房長官をイメージした背広やメガネを置いた撮影コーナーを設置。

【平成最後の「平成」ダンス】

ジョーホールで、筑紫中央高校ダンス部によるダイナミックなバブリーダンスの披露。

大野城最後の数珠繰り行事

- 会 期 令和元年 6 月 1 日（土）～8 月 31 日（日）
- 内 容 明治 19 年 6 月 20 日から 133 年続いた下大利の「お大師さま」は、平成 29 年 12 月 20 日に最後の数珠繰りが行われた。下大利に受け継がれてきた数珠繰り行事の調査記録と寄贈された数珠繰り道具一式を展示し、筑紫地区で行われていた数珠繰り行事を紹介した。
- 展示資料 大数珠、百万数珠箱、鉦一式、掛軸（十三佛、弘法大師御影）十三佛御真言（文書）、祭壇一式など

関連事業

【数珠繰り体験】

昭和のくらしコーナーでの数珠繰り体験。 講師：児嶋絹子氏（下大利区）

新資料公開！～大野城市の偉人～

- 会 期 令和元年 9 月 10 日（火）～10 月 6 日（日）
- 内 容 目加田誠・さくを夫妻、赤司岩雄氏、高原善蔵氏、高原善七郎氏、高原謙次郎氏、竹田定直氏の市にゆかりのある 7 名の人物を紹介する展示。目加田誠氏が残した『北平日記』の原本など初公開資料の展示に合わせ、ふるさとラボでは九州大学中国文学会『目加田誠「北平日記」』、赤司岩雄『大野城市の地名の由来』を自由に閲覧可能とした。
- 展示資料 九州大学中国文学会が目加田誠氏の北京留学時代の日記をまとめた『北平日記』の原本、周作人氏から目加田誠氏へ贈られた書、随筆集『残燈』原稿、目加田さくを氏所蔵『岩佐又兵衛三十六歌仙絵』復刻写真版（うち、2～4 枚を 2 週間ずつ展示）、遺族によって出版された赤司岩雄氏の遺作『大野城市の地名の由来』原稿など

発掘！大野城市～石勺遺跡～

会 期 令和元年 10 月 16 日（水）～12 月 15 日（日）

内 容 当館やまどかびあ周辺に広がる石勺遺跡の発掘調査の成果を公開した。石勺遺跡に人が住んでいたことを示す土器や石剣などの展示、石勺遺跡の特徴とみられる玉つくりや、発掘調査に関わるエピソードなどを紹介した。また、市内遺跡出土甕棺 2 基の自由な写真撮影を可とした。

展示資料 玉（完成品・未成品）、玉つくりに伴った土器、縄文土器、弥生土器、石剣、古墳時代の青銅製矢じり、朝鮮半島で作られた土器と似た土器、ガラス玉など

2-3 大野城コレクション

可動式棚を利用して、作品や収集品等の展示を行っている。貸館として、一般利用者の利用も可能。

平成 31（2019）年度の使用実績			
タイトル	会期	内容・展示資料	主催
Hey!Say! 平成の思い出	4 月 9 日（火） ～5 月 26 日（日）	市民の「平成の中で印象に残っている思い出」	大野城市情報広報課 （活用事業）
ボタニカルアートを楽しむ会	5 月 28 日（火） ～6 月 9 日（日）	正山征洋氏所蔵の 18・19 世紀頃の西洋のボタニカルアート	正山征洋氏・大野城市 共催（つながる事業）
伊勢形紙	6 月 14 日（金） ～6 月 30 日（日）	個人所蔵の伊勢形紙	個人（貸館）
第 4 回特別展「TOY s EXPO」PR	7 月 2 日（火） ～7 月 15 日（月）	心のふるさと館や個人所蔵のおもちゃ、ゲーム	大野城市
レトロ絵葉書展 福岡の町並みとにぎわい	7 月 20 日（土） ～9 月 1 日（日）	ふるさと文化財課職員所蔵の明治時代後期から昭和時代初期にかけてのまちの姿の絵葉書（門司、福岡、太宰府、二日市、久留米、大牟田）	大野城市
おおの山城大文字まつり タオル&ポスターデザイン展	9 月 4 日（水） ～10 月 6 日（日）	おおの山城大文字まつり公式タオルの受賞作と過去のタオルデザイン、平成 31(2019)年度及び過去の公式ポスター（公募は平成 30 年度で終了）	大野城市
広報「大野城」表紙展	10 月 8 日（火） ～10 月 30 日（水） 11 月 12 日（火） ～12 月 15 日（日）	広報「大野城」の過去の表紙	大野城市情報広報課 （活用事業）

タイトル	会期	内容・展示資料	主催
MOA美術館福岡児童作品展 大野城地域展	11月1日(金) ～11月10日(日)	MOA美術館福岡児童作品展にて入賞した、市の児童の作品 36点	MOA美術館福岡児童作品展実行委員会実行委員米倉順子氏と大野城市の共催 (つながる事業)
市内6年生 「夢灯り」	12月17日(火) ～1月13日(月)	市内小学6年生が1人ひとり将来の夢を書いた「夢灯り」を小学校別に約1週間ずつ展示	大野城市ふるさとにぎわい課(活用事業)

※「市内6年生「夢灯り」」は後期展示を3月3日(火)～3月31日(火)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

2-4 特別展

平成31(2019)年度開催の特別展

会期	特別展名
4/27～6/23	「古墳 王の輝き」
7/20～9/1	「TOYS EXPO - 時代を越えて愛される おもちゃ・ゲームの世界展 -」
10/29～12/22	「縄文王国やまなし」
1/18～2/26	「発掘された日本列島2019」

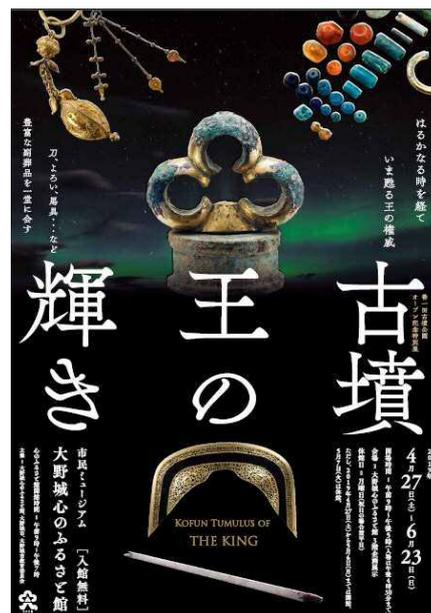
善一田古墳公園オープン記念

第3回特別展「古墳 王の輝き」

会 期 平成31年4月27日(土)～令和元年6月23日(日)
(51日間)

内 容 善一田古墳公園竣工に合わせ、本市が誇る市指定史跡「善一田古墳」の歴史的価値を市内外に広く周知すると共に、古墳時代の列島各地の荘厳な装飾品の数々を一堂に会し、東アジアに源流をたどり独自に花開いた古墳時代の工芸技術や造形・意匠、歴史と美に触れる展示を行った。

展 示 品 日向国西都原古墳出土金銅馬具類鞍橋金具後輪(同素材復元品)、宮崎県西都原4号地下式横穴墓出土横矧板革綴短甲、島根県安来市高広IV区1号横穴墓出土双龍環頭大刀、島根県宮内II区1号横穴墓出土馬具、大阪府萱振遺跡出土鞍形埴輪、熊本県江田船山古墳出土宝珠形立飾付狭帯式金銅冠(複製品)、福岡県八女市立山山8号墳出土金製耳飾、大野城市善一田古墳出土三累環頭柄頭など



観覧料 大人 300 円（友の会 250 円、団体 250 円）
高校生以下無料

観覧者数 3,508 名（1 日平均：68.8 名）

図録 A 4 判本文 42 ページ／300 円／編集・発行：大野城心のふるさと館

関連イベント

【講演会「金工技術から見た九州の古墳文化」】

第 1 部 講演会

「南九州の古墳文化」東 憲章氏（宮崎県埋蔵文化財センター主幹）

「日本の金工技術」望月 規史氏（九州国立博物館企画課研究員）

第 2 部 パネルディスカッション

パネラー：東 憲章氏、望月 規史氏

モデレーター：赤司 善彦館長

・開催日：5 月 19 日（日） ・参加数：69 名 ・場所：講座学習室

【ミュージアムトーク】

特別展会場内で、特別展の見所や展示資料にちなんだテーマについて解説を行った。

・開催日：5 月 11 日（土）、5 月 18 日（土）、5 月 25 日（土）、
6 月 1 日（土）、6 月 8 日（土）、
6 月 15 日（土）、6 月 22 日（土）

・参加数：合計 83 名

【善一田古墳公園オープンイベント】

当日は当館と善一田古墳公園間でシャトルバスを運行し、善一田古墳公園で石室特別公開、古代衣装体験、勾玉アクセサリ作りなどのイベントを実施した。

・開催日：4 月 27 日（土） ・参加数：430 名

【クイズラリー】

会期中、クイズラリーを行った。

・参加数：940 名

【古墳の王になりきろうコーナー】

会期中、特別展会場内で、古墳時代の王の衣装、刀、冠、イヤリングなどを身につけて古墳遠景を背景に写真撮影ができるコーナーを設置。

【ぬり絵コーナー】

会期中の土・日・祝日、特別展の展示資料にちなんだぬり絵ができるコーナーを 3 階ホワイエに設置。

・参加数：260 名

【古墳アイテムを作ろう】

会期中の土・日・祝日、よろい・かぶとのペーパークラフトができるコーナーを 3 階ホワイエに設置。

・参加数：260 名



大野城心のふるさと館開館1周年記念

第4回特別展「TOYS EXPO - 時代を越えて愛される

会 期 令和元年7月20日(土)～9月1日(日)(35日間)

※3日間は台風による臨時休館

内 容 昭和40年代頃から平成初期頃にかけて発売された家庭ゲームにスポットをあてて紹介。今の子ども達には新しい発見を、親・祖父母世代には懐かしさを感じる展示を行った。

展 示 品 バンカース、沈没作戦ゲーム、生き残り頭脳ゲーム、メロディフォン、ママジューサー、マイミシン、スペースインベーダー、VS. システム、ODYSSEY、SUPER PONG、ブロック崩しなど

観 覧 料 大人200円(友の会150円、団体150円)

高校生以下100円(友の会50円、団体50円)

未就学児無料

観覧者数 10,705名(1日平均:305.9名)

図 録 横21cm×縦21cm 本文33ページ/300円/発行:大野城心のふるさと館

関連事業

【おもちゃ・ゲームで遊べるコーナー】

長年親しまれている懐かしのおもちゃから最新のおもちゃまで、20種類程度のおもちゃで遊べるコーナーを8月4日(日)までは1階ジョーホール、8月6日(火)からは3階ホワイトエに設置。

・開催日:7月20日(土)～9月1日(日) ・参加数:430名

【ワークショップ:昭和のゲームを体験しよう!】

特別展の観覧者を対象に、昭和のおもちゃの歴史や、昭和に発売されたボードゲーム等を楽しむワークショップを開催。

・開催日:8月3日(土)※1日2回 ・参加数:89名 ・場所:講座学習室

・講師:高橋 浩徳氏(大阪商業大学アミューズメント産業研究所 研究員)

【懐かしのテレビゲーム大会】

大野城ダイナビジョンを使用した、世代を越えて愛される懐かしのテレビゲーム大会。1日2回を3日間に渡り開催。

・開催日:7月28日(日)、8月24日(土)、8月25日(日)

・参加数:270名

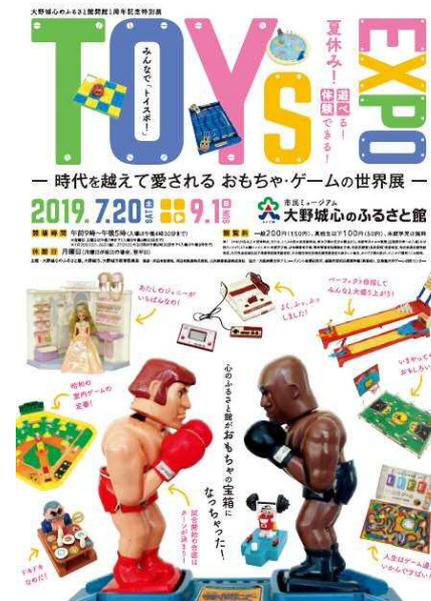
・MC:1日目 DJ LUE氏/2日目 DJ Sakiko氏
/3日目 岡本 啓氏、赤塚 亮太郎氏

【おもちゃ病院大野城】

物を大切にすることを育むことを目的に、壊れてしまった大切なおもちゃを修理できるおもちゃ病院を1階ジョーホールで開催。

・開催日:8月8日(木) ・参加数:28名 ・協力:おもちゃ病院エフネットグループ

おもちゃ・ゲームの世界展 - J



第5回特別展「縄文王国やまなし」

会 期 令和元年10月29日(火)～12月22日(日)(48日間)
内 容 九州国立博物館との連携企画として同時開催。山梨県をはじめとする中部高地と呼ばれる甲府盆地を中心とした地域の造形美あふれる縄文土器を中心に、日頃みることのない不思議な模様でうめつくされた土器を紹介。そこに込められた縄文人のメッセージや想像力をかきたてる摩訶不思議な縄文ワールドの魅力に迫った。

展示資料 山梨県北杜市甲ツ原遺跡出土深鉢形土器、山梨県笛吹市・甲州市釈迦堂遺跡出土土偶、山梨県南アルプス市長田口遺跡出土深鉢形土器、静岡県伊豆の国市仲道A遺跡出土深鉢形土器など

観 覧 料 大人200円(友の会150円、団体150円)
高校生以下無料

観覧者数 2,318名(一日平均:48.3名)

図 録 横19cm×縦26cm本文151ページ/2,000円

発行日:10月29日/監修:九州国立博物館/発行:(株)求龍堂

関連事業

【コンテンポラリーアート】

会期中を通じて、縄文土器の抽象的な模様や異形の造形と現代作家によるアートの融合として、大野城市美術協会の協力を得て実施。

- ・出展作品:「砂模様」吉塚雄二氏(大野城市美術協会会長)、
「文字の象形」前崎鼎之氏、「対岸」小林京子氏

【THE HUNTING】【THE HUNTING スペシャル】

会期中を通じて、特別展の会場内におもちゃの弓矢を使った的当てのコーナーを設置し、主に狩猟・採集で食料を得ていた縄文時代の狩猟体験を行った。的の模様と合わせたビンゴ用紙も用意した。うち2日間は「THE HUNTING スペシャル」として、じょーもんリストバンドをしている方を対象に、持ち矢5本のうち3種類の的に当たった場合は景品をプレゼントした。

- ・参加者:約500名

【じょーもんリストバンドをゲットしよう!】

特別展会場内に設置されたブースで選択した好きな作品カードを選択し、オリジナルリストバンドを完成させた。「THE HUNTING スペシャル」の参加券としても使用。

- ・開催日:11月23日(祝・土)～12月22日(日) ・参加者:488名

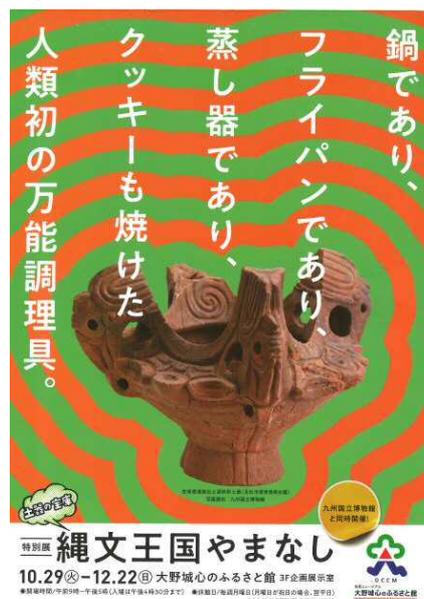
【「縄文王国やまなし」展バスツアー】

当館と同時開催した九州国立博物館「縄文王国やまなし」の展覧会会場を巡るバスツアー。

- ・開催日:11月9日(土)、11月23日(祝・土)、11月29日(金)、12月12日(木) ・参加者:69名

【縄文ワークショップ:缶バッチ作り】

デザインシートの色塗りと切り取りで缶バッチを作成。



・開催日：11月17日（日）、12月8日（日） ・参加者：76名 ・場所：講座学習室

【縄文ワークショップ：縄文土器マグネット作り】

オープン粘土で作ったミニチュア縄文土器のマグネットを作成。

・開催日：11月17日（日）、12月8日（日） ・参加者：22名 ・参加費：200円 ・場所：講座学習室
【講演会】

「縄文人の生活～私たちが知らない縄文世界～」中山 誠二氏（南アルプス市ふるさと文化伝承館長）

「土器・土偶が語る物語～命をつなぐ～」保阪 太一氏（南アルプス市教育委員会 文化財主事）

・開催日：12月8日（日） ・参加者：84名 ・場所：講座学習室

【縄文3D映像】

映画監督山岡信貴氏提供の縄文土器・土偶の3D映像「縄文にはまる人々」を電子黒板に投影、来館者が自由に鑑賞できるよう3Dメガネを設置。

・開催日：12月1日（土）～12月22日（日） ・場所：3階ホワイエ

【観覧者特典】

当館ここふるショップのカフェコーナーで、同時開催の九州国立博物館特別展「縄文王国やまなし」のチケット半券の提示により、ドリンクを50円引きで提供。

・開催日：10月29日（火）～12月22日（日） ・利用者数：5名

第6回特別展「発掘された日本列島 2019」

会 期 令和2年1月18日（土）～2月26日（日）（34日間）

内 容 文化庁との合同開催。近年注目され話題になった全国各地の発掘の成果を展示。併せて、地域展「牛頸須恵器窯跡と大神部」を開催。また、特別展の一部として日本各地の史跡や天然記念物をテーマに作成されたグッズを大野城コレクションで展示した。

展示資料 墨古沢遺跡出土ナイフ形石器をはじめとした30遺跡約570点の出土品

観 覧 料 大人400円（友の会350円・団体350円）
高校生以下無料

観覧者数 3,339名（1日平均：98.2名）

図 録 B5判本文71ページ／1,980円／発行日：6月3日

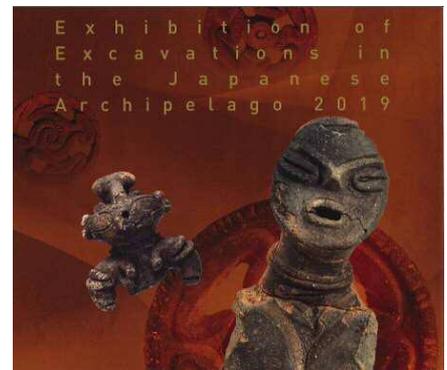
編著者：文化庁／発行：（株）共同通信社

関連事業

【大野城まどかぴあ事業「カブキノヒカリ」との連携企画】

特別展及び大野城まどかぴあ事業「カブキノヒカリ」展でスタンプラリーを実施。ラリー達成者には当館ここふるショップのカフェコーナーでドリンクを50円引きで提供。

・開催日数：1月29日（火）～2月3日（日） ・参加数：29名



【ギャラリートーク】

特別展会場内を巡りながら、展示についての解説を行った。

- ・開催日：1月18日（土）、2月15日（土） ・参加数：29名（内訳：1日目20名、2日目9名）

【列島展講演会】

「発掘された日本列島2019の魅力」川畑 純氏（文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門文部科学技官）
ディスカッション「発掘された日本列島展2019について」川畑 純氏、赤司 善彦館長

- ・開催日：1月19日（日） ・参加数：76名 ・場所：講座学習室

【5・7・5・7・7でラブレター】

特別展に出品された山梨県ケカチ遺跡出土の和歌刻書土器にちなんで5音と7音を使ったラブレターを作成。投稿されたものは、SNS・ホームページで公開、投稿者には和柄のはがきを1枚進呈した。

- ・開催日：1月18日（土）～2月14日（金） ・参加数：13名 ・場所：1階エレベーター横

【列島展リストバンドをゲットしよう！】

会期中を通じて、特別展会場内に設置されたブースで8種類から好きな作品カードを選択し、オリジナルリストバンドを完成させた。

- ・参加者：303名



【ワークショップ：列島展缶バッチ作り】

特別展の出品作品にちなんだイラストを5種類から1つ選び、色を塗って缶バッチを作成。

- ・開催日：1月25日（土）、26日（日） ・参加数：6名 ・参加費：100円 ・場所：講座学習室

【ワークショップ：お守りを作ろう！】

特別展に出品された土版にちなみ、おが屑ねんどを使ってオリジナルのお守りを制作。



- ・開催日数：1月25日（土）、26日（日） ・参加数：32名 ・参加費：300円 ・場所：講座学習室

【絵描き集合、かんさつスケッチ！】

特別展会場内で事前に指定された作品のスケッチを行い、終了後は参加者同士で発表会を行った。

- ・開催日：2月2日（日） ・参加者：4名

【ワークショップ：列島展スタンプでつくる大人の布小物作り】

特別展作品にちなんだスタンプや布用ペンを使い、オリジナルデザインのカバンを制作。



- ・開催日：2月16日（日） ・参加数：2名 ・参加費：800円 ・場所：講座学習室

【列島展スタンプでお話を作ろう！】

特別展の展示作品をモチーフにしたスタンプを台紙に捺して、オリジナルのお話を作った。

- ・開催日：2月18日（火）～2月26日（水） ・参加数：120名

- ・場所：1階こども体験ギャラリー、3階ふるさとラボ

【大野城市文化財講演会・シンポジウム】 ※毎年開催している文化財講演会を特別展と連携して実施した。

「酒と須恵器と古代の祭り」桃崎 祐輔氏（福岡大学人文学部教授）

「牛頸須恵器窯跡と大神部」石木 秀啓（大野城市教育委員会ふるさと文化財課長）

シンポジウム「須恵器づくりと酒づくり、そして国づくりへ」

コーディネーター：舟山 良一（心のふるさと館運営課）

- ・開催日：1月19日（日） ・参加数：135名 ・場所：まどかぴあ多目的ホール

3 教育普及

3-1 学校連携事業

ふるさとの歴史をはじめとする地域資源、環境に興味・関心を深め、主体的な活動を促すという学習指導要領のねらいを踏まえ、総合学習や社会科を中心に、館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、市内小中学校の教育活動をサポートしている。

平成 31 (2019) 年度実績 市内小学校 10 校、中学校 1 校、全 23 回、2,789 名

学校	タイトル	概要
小学校	① わたしたちの大野城市	市全体の様子や歴史・産業についてのダイナビジョンやAR (タブレット) を使った学習
	② 大野城市の発展につくした人	牛頸用水路と森山庄太についての座学、たぬき掘りやもっこの体験
	③ 昔のどうぐ	昭和 20・30・40 年代の暮らしの様子についての学習
	④ 山城のすばらしさを PR しよう	大野城跡や水城跡についての学習、現地見学
中学校	⑤ 地域の歴史を探る	心のふるさと館を活用した調査・資料収集についての学習、現地見学



3-2 体験型事業

ここふるAR

利用者のスマートフォンやタブレット端末への AR アプリの無料ダウンロード及び館内でのタブレット端末の貸出により、AR システムによる解説を常時実施している。

平成 31 (2019) 年度利用実績

AR アプリダウンロード数		タブレット端末 一般貸出数
iOS 版	Android 版	
1,492	1,224	19 台 (利用人数 25 名)



(AR なし)



(AR あり)

《 1 階ダイナビジョン前 》

※タブレット端末の貸出は 1 回 2 時間以内。

百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の百間石垣の一部を壁面に再現し、約7メートルの石垣の高さを体験できるウォール・クライミングを設置しており、土日祝日には小学生以上を対象にウォール・クライミング体験を実施している。平成31（2019）年度実施内容は以下のとおり。

【通常運用】

各班4名（全10班）で30分間のクライミング体験を実施。定期的な利用者が見受けられた。今年度から登るコースの数を増やし、定期的にコースを変更して、難易度を選択できるようゲーム性を向上させた結果、利用者のリピート率の維持・向上、利用者の年齢層が拡大した。

・開催回数 95回 ・参加数 1,802名

【夏休み小学生クライミング体験会】

夏休み期間中の水曜日に、小学生以上を対象とした各班4名（全6班）で30分間のクライミング体験を実施。新規利用者、リピーター共に週末と同程度の利用があった。

・開催日 7月24日、8月7日、8月14日、8月21日 全て（水） ・参加数 82名

【子ども考古学教室】

子ども考古学教室のイベントとして希望者にクライミング体験を実施。

・開催日 7月31日（水） ・参加数 11名

【冬休み小学生クライミング体験会】

冬休み期間中の火曜日に、小学生以上を対象とした各班4名（全6班）で30分間のクライミング体験を実施。参加者の多くはリピーターであった。

・開催日 12月24日（火）、1月7日（火） ・参加数 11名



子ども考古学教室

夏休み期間中、小学4年生～中学2年生を対象に、考古学や文化財への理解と関心を深めるため、遺跡見学や考古学のお仕事体験など、参加費無料の体験型学習を実施した。

平成31（2019）年度「善一田古墳群をめぐる冒険」

日時	内容	参加数
7月31日（水） 13時～16時	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・大野城心のふるさと館の見学 ・大野城市の遺跡についての学習 	12名 内訳）小学4年生6名 5年生1名 6年生4名 中学2年生1名
8月1日（木） 10時～16時	<ul style="list-style-type: none"> ・水城跡、善一田古墳群の現地見学 	
8月2日（金） 10時～16時	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学についての学習 ・考古学のお仕事体験（土器洗い、実測、拓本） ・レポート発表 	

ここふるワークショップ

未就学児から高齢者まで様々な年齢層が自由に参加して楽しめる参加費無料のワークショップを実施。季節や行事など身近なものを題材として、折り紙など簡単な材料を使った工作を行っている。

- ・実施時間：10:00～16:00（受付は15:30まで、材料がなくなり次第終了）
- ・総実施教室：64教室　・参加数：4,150名　・実施場所：こども体験ギャラリー

【こいのぼりを作ろう！】（4月）

ぬりえでオリジナルのこいのぼりを作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：329名



【押し花しおり作りをしよう！】（5月）

台紙に押し花や型抜きした色紙を貼り付けたオリジナルしおりの作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：330名



【七夕飾り作りをしよう！】（6月）

折り紙で作った七夕飾りを台紙や模造の笹につける。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：286名



【かざぐるまを作ろう！】（7月）

紙皿や紙コップを使った、振ると回るかざぐるまの作成。

- ・開催日数：5日 ※台風のため1日中止
- ・参加数：368名



【風鈴を作ろう！】（8月）

デザートカップに型ぬきをした模様を貼り付けた風鈴の作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：649名



【ウサギののぼり人形を作ろう！】（9月）

厚紙や毛糸などを使ったウサギと月の「のぼり人形」の作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：353名



【ハロウィンのお面を作ろう！】（10月）

ハロウィンで使うお面の作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：373名



【どんぐりリースを作ろう！】（11月）

どんぐりを使ったリースの作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加数：280名



【びゅんびゅんごまを作ろう！】（11月）

厚紙を使ったびゅんびゅんごまの作成。

- ・開催日数：4日
- ・参加数：197名



【クリスマスカード作りをしよう！】（12月）

折り紙で作ったサンタなどを使った、クリスマスカードの作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：390名



【お正月遊びを体験しよう！】（1月）

コマ回し、福笑い、すごろくの体験。

- ・開催日数：1日
- ・参加数：自由参加

【節分飾り作りをしよう！】（1月）

台紙に折り紙で作った鬼などを貼り付けた節分飾りの作成。

- ・開催日数：4日
- ・参加数：219名



【ひな人形を作ろう！】（2月）

紙コップと花紙や千代紙を使ったひな人形の作成。

- ・開催日数：6日
- ・参加数：376名



※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、以下の事業を中止。

【竹とんぼを作ろう！昔遊びをしよう！】

（3月）

牛乳パックとストローを使った竹とんぼの作成、昔遊びの体験。

ここふる体験工房

地域の歴史や文化に親しみを持ち、展示から得られた理解をより身近に感じてもらうため、幼児から大人まで幅広い年齢を対象に、歴史や文化の要素を取り入れた有料の体験工房を実施している。

・実施日：毎月第4土日 ・総体験工房数：9 ・参加数：313名

※場所の記載があるもの以外は講座学習室での実施。

【春の和菓子作り】（4月）

端午の節句や春の和菓子の解説、春の和菓子作り体験。

- ・開催日数：2日
- ・場 所：昭和のくらしコーナー
まどかぴあ2階 調理実習室
- ・参加費：500円
- ・参加数：40名
- ・講 師：今林 美栄子氏、溝上 忍氏、
國廣 亜樹子氏（今林美栄子教室）



【藍染め体験】（5月）

藍染の歴史紹介、ハンカチの藍染体験。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：300円
- ・参加数：35名



【撚糸ストラップ作り】（6月）

撚糸の歴史紹介、ヘンプ糸でのストラップ作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：200円
- ・参加数：39名



【折り染めうちわ作り】（8月）

伝統的な涼の取り方紹介、和紙染めによるうちわ作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：200円
- ・参加数：39名



【勾玉ネックレス作り】（9月）

中通古墳群出土翡翠勾玉（常設展示中）の見学、勾玉ネックレス作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：200円
- ・参加数：38名



【はにわストラップ作り】（10月）

はにわについて職員より紹介した後、オープン粘土で埴輪をつくりストラップを作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：300円
- ・参加数：33名



【クリスマスダンボールアート】（11月）

ダンボールを使ったクリスマスツリー、リース、長靴の作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：500円
- ・参加数：30名
- ・講 師：安川 眞澄氏（アトリエ MISHMASH）



【押し花工作】(12月)

押し花の歴史紹介、押し花を使ったコースター、ティーマットの作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：300円
- ・参加数：21名
- ・講師：釘崎 節子氏



【昔のお金・貨布作り】(1月)

仲島遺跡出土貨布(常設展示中)の見学、合金を使った貨布の模造品の作成。

- ・開催日数：2日
- ・参加費：300円
- ・参加数：38名



※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、以下の事業を中止。

【さげもん飾り・木目込み作り】(2月)

さげもんの歴史紹介、さげもんの飾りでつかわれる木目込みの作成。

- ・参加費：500円
- ・講師：溝口 和美氏

【土器型クッキー作り】(3月)

実際の縄文土器の観察と土器の破片を模したクッキー作り。

- ・場所：まどかぴあ2階 調理実習室
- ・参加費：500円

昭和のくらしコーナー展示替え

展示替え作業を通しての世代間交流と、館の事業への積極的な関わりの促しを目的として、参加費無料で一般参加者を募集して、昭和のくらしコーナーの展示替えを共に行っている。

	日時	展示替え内容	参加数
第1回	5月11日(土) 13時~14時	昭和20年代→昭和30年代	7名
第2回	8月10日(土) 13時~14時	昭和30年代→昭和40年代	8名
第3回	12月1日(日) 13時~14時	昭和40年代→昭和20年代	6名



3-3 団体利用

10名以上の団体を対象として、館内や学校、公民館等の館外で利用できる様々な講座や史跡案内を実施している。学芸員及びふるサポの会サポーターによる館内学習や歴史体験講座を館内で行うほか、歴史体験講座などの一部は、館内だけでなく学校の授業や公民館での講演会でも実施可能としている。

また、当館で得た知識と情報を元に歴史やまちの魅力を体験できるよう、館内の学びのほか、実際の史跡散策など、当館と史跡、大野城トレイルとの連携を図るプログラムを展開している。

館内学習

講座名	内容	利用実績
心のふるさと館見学	館内各展示をガイド付で見学	21 団体 (646 名)
むかしの暮らし講座	昭和のくらしコーナーをガイド付で見学、道具の体験	—

歴史体験講座

講座名	内容	利用実績
勾玉づくり	古来から伝わる装身具である勾玉作り	10 団体 (614 名)
土笛づくり	オープン粘土を使った土笛作り	3 団体 (66 名)
昔遊びをしよう	けん玉やめんこ、かるた、こまなどの昔遊び	—
ロケットジャンプ	紙コップと輪ゴムを使った飛ばして遊べる簡単工作	—

※うち館外での実施 11 団体 (644 名)

史跡散策

講座名	内容	利用実績
団体館外ガイド	水城・大野城跡や大野城トレイル等、現地をガイド付で見学	13 団体 (721 名)

出張講座

講座名	内容	利用実績
大野城市今昔物語	市内の歴史や発掘調査の成果についての講座	15 団体 (939 名)

3-4 まち歩き事業

遺跡などへの理解を深めるため、ガイド付きで実際に史跡めぐりを行うまち歩き事業を実施している。

タイトル	日時	内容	参加数
大野城をあるく	6月8日(土) 10時～17時	史跡めぐり(大野城跡)	16名
善一田ナイトトリップ	7月27日(土) 18時半～21時半	善一田古墳の内部公開	123名
日田街道を行く	9月28日(土) 10時半～12時半	史跡めぐり(日田街道周辺)	18名

タイトル	日時	内容	参加数
水城を歩く	10月26日(土) 12時半～17時	史跡めぐり(水城跡とその周辺)	13名
梅頭窯跡公開	11月10日(日) 13時～16時	梅頭窯跡の覆屋内を公開	60名
わくわくウォーク	10月13日(日) 13時～17時	ウォーキングイベントによる史跡解説 (大野城跡)	7名
	11月10日(日) 13時～16時	ウォーキングイベントによる史跡解説 (水城跡、梅頭窯跡)	5名
	12月15日(日) 9時～12時	ウォーキングイベントによる史跡解説 (日田街道)	9名

3-5 講座・講演会

平成31(2019)年度に実施した講座・講演会は以下のとおり。

館長講座

演題	講師	開催日	参加数
邪馬台国問題2	館長 赤司 善彦	5月18日(土)	56名
古代山城1		6月16日(土)	64名
古代山城2		7月13日(土)	55名
古代山城3		8月17日(土)	56名
大宰府と対外交流1		9月21日(土)	52名
大宰府と対外交流2		10月12日(土)	44名
大宰府と対外交流3		11月16日(土)	47名
縄文文化		12月14日(土)	43名
発掘された日本列島2019の魅力 ※特別展関連事業	文化庁文部科学技官 川畑 純氏 館長 赤司 善彦	1月18日(土)	76名
古墳文化(岩戸山古墳と装飾古墳)	館長 赤司 善彦	2月15日(土)	48名

※会場は全て講座学習室、開催時間は全て14時～16時。

※令和2年3月14日実施予定の館長講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

考古学講座

演題	講師	開催日	参加数
総説・牛頸須恵器窯跡	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課長 石木 秀啓	8月4日(日)	24名
八女の須恵器生産と筑紫君	八女市教育委員会 檀 佳克氏	9月1日(日)	24名

演題	講師	開催日	参加数
肥君の動向と肥後の須恵器生産	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課 山元 瞭平	10月13日(日)	19名
船迫窯跡、豊前国分寺の現地見学	—	11月17日(日)	24名
最新科学からみた須恵器の生産と流通	九州大学 比較社会文化研究院 准教授 田尻 義了氏	12月1日(日)	28名
文字資料で読み解く牛頸須恵器窯跡	九州歴史資料館 酒井 芳司氏	2月2日(日)	39名

※会場は全て講座学習室、開催時間は14時～16時、11月17日の現地見学のみ12時半～17時半。

古文書講座

演題	講師	開催期間	参加数
「高原家文書」、「染原家文書」を解説 (全18回)	長崎大学名誉教授 柴多 一雄氏	5月23日(木) ～2月13日(木)	537名

※会場は全て講座学習室、開催時間は各回18時半～20時半。

文化財講演会

演題	講師・報告者・コーディネーター	開催日時・場所	参加数
講演 「酒と須恵器と古代の祭り」	福岡大学人文学部教授 桃崎 祐輔氏	1月19日(日) 14時半～16時半 まどかぴあ 多目的ホール	135名
事例報告 「牛頸須恵器窯跡と大神部」	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課長 石木 秀啓		
シンポジウム 「須恵器づくりと酒づくり、そして国づくりへ」	心のふるさと館運営課 舟山 良一		

※第6回特別展「発掘された日本列島2019」と連携して実施。

元号関連古典文学講演会

演題	講師	日時	参加数
新元号令和と目加田誠	九州大学文学部教授 静永 健氏	7月3日(水)	76名
大正天皇の漢詩とその背景	九州大学文学部名誉教授 竹村 則行氏	8月30日(金)	63名
令和・万葉集	福岡女子大学国際文理学部 教授 月野 文子氏	10月4日(金)	81名
梅花の宴を催した大伴旅人の館はどこか	館長 赤司 善彦	11月1日(金)	79名

※会場は全て講座学習室、開催時間は全て14時～16時。

3-6 ふるさとラボ

大野城市在住だった目加田誠・さくを夫妻から寄贈された蔵書類の一部、並びに市文化財に関する図書等を利用者が自由に閲覧できる開架図書としている（貸出不可、複写可）。壁面には目加田誠・さくを夫妻とその著作物の紹介と、大野城市にゆかりの深い人物4名（明治時代に台湾の米改良に取り組んだ末永仁氏、用水路を引くために私財を投じた森山庄太氏、日本地図作成の際に当市周辺を通った伊能忠敬氏、証券会社を設立して地元や市に多大な寄付を行った大野城市出身の石井久氏）の解説を設置している。



3-7 研修生等受入

学芸員課程博物館実習

学芸員課程を履修している学生を対象に、博物館業務の実習受入を行っている。

平成 31 (2019) 年度実施期間	学校名	参加者	実習成果
7月30日(火)～8月7日(水)	筑紫女学園大学	2名	館展示資料のキャプションを作成
	福岡大学	3名	

※8月3・4日を除く。また、8月6日は台風のため中止。

職場体験

市内中学校の生徒を対象に、ワークショップ準備、警備業務、総合受付業務、団体対応業務、ここふるショップ業務などの職場体験を行っている。

平成 31 (2019) 年度実施期間	学校名	参加者
9月11日(水)・12日(木)	大和中学校	4名
1月15日(水)・16日(木)	大野東中学校	4名
1月21日(火)・22日(水)	大野中学校	2名
2月26日(水)・27日(木)	平野中学校	3名

※御陵中学校の職場体験3名の受け入れを2月27日(木)・28日(金)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

インターンシップ

(一社)九州インターンシップ推進協議会に参画し、大学生を対象に、ワークショップ・特別展関連イベントの補助、ここふるショップや総合案内などの体験によるインターンシップを実施している。期間を通して課題について検討し、最終日は館職員に向けて発表を行った。

平成 31 (2019) 年度実施期間	学校名	参加者	課題
8月19日(月)～8月29日(木)	西南学院大学 福岡女学院大学	各1名	心のふるさと館に今まで来館したことのない人が来館したくなるようなイベントを企画しよう！

4 催し・施設貸出など

4-1 にぎわいづくり事業

まちの宝である地域で活躍する人など、市の魅力発信とまちのにぎわい創出を目的に、市内の団体や民間事業者等、多様な主体と連携した当館主催のイベントを行っている。

ここふるジャズナイト

開催日 平成 31 年 4 月 20 日（土）

内 容 大野城市出身・在住の 2 人組ユニット「In the Groove」によるジャズコンサート。

観覧数 69 名



新天皇即位の日関連行事パブリックビューイング

開催日 令和元年 5 月 1 日（水・祝）

内 容 新天皇陛下御即位に伴う祝賀として、天皇の即位の日に行われる関連行事のパブリックビューイングを 1 階大野城ダイナビジョンで実施。
5 月 1 日～6 日は、市総務課が館内に国旗及び記帳所を設置した。



来館 10 万人達成セレモニー

開催日 令和元年 7 月 13 日（土）

内 容 平成 30 年 7 月 21 日の開館後、来館者 10 万人達成の感謝を込めた記念セレモニーを開催。記念動画の上映のほか、10 万人目の来館者には認定証と記念品を贈呈した。



開館 1 周年記念イベント

期間：令和元年 7 月 20 日（土）～28 日（日）

オープニングイベント：ハートフルライブアート

開催日 7 月 20 日（土）

内 容 サクソフォンの演奏とライブアートの融合イベント。ライブアートは、サクソフォン奏者斎藤広樹氏と画家安河内俊明氏によるパフォーマンス、第 2 部では公募した市内小学生 10 名によるパフォーマンス、第 3 部では 3 者によるパフォーマンスの 3 部構成。最後には、100 号キャンバスに抽象画が完成した。

観覧数 66 名



大野城史跡巡り！バスツアー

開催日 7月20日(土)、27日(土)、28日(日) ※21日(日)を雨天のため中止
内 容 水城跡、善一田古墳公園、大野城跡を巡るバスツアー。
参加数 66名

ここふる・夢・つなげるプロジェクト講演会

開催日 7月24日(水)
内 容 ゲストに松中信彦氏(元ソフトバンクホークス)、進行に西田たかのり氏(KBCアナウンサー)を迎え、小・中・高校生の将来になりたい職業に実際に従事している著名人等の体験談や夢を実現するためのステップについて語る、子どもたちとその保護者に向けた講演会。
参加数 208名



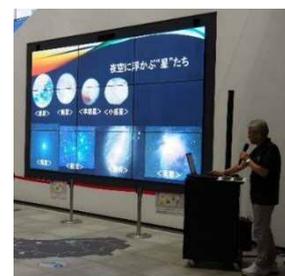
館長トークセッション (KBC ラジオ ふるさと wish 大野城市特別版 公開生放送)

開催日 7月27日(土)
内 容 当館館長と沢田幸二氏(KBCアナウンサー)、川上政行氏(フリーアナウンサー)、松村邦洋氏(タレント)によるトークセッションをKBCラジオ公開生放送で実施。
参加数 326名



ナイトミュージアム「ここふる星の世界」

開催日 7月26日(金)、27日(土)
※20日(土)を大雨による17時以降の臨時休館に伴い中止。
内 容 夏の夜空を彩る美しい星や惑星の秘密についての講演会。
講 師 26日:林田和也氏(NPO法人共働のまち大野城北コミ事業班長)
27日:天本湧樹氏(天文ハウス TOMITA)
参加数 68名(26日49名、27日19名)



ナイトミュージアム「ここふるショップ&カフェ」営業延長(18時~20時)

開催日 7月26日(金)、27日(土)
※20日(土)を大雨による17時以降の臨時休館に伴い中止。
内 容 ナイトミュージアムに併せた営業延長。26日は、カフェコーナー
参画団体のグループANによる限定メニューを提供した。



ワークショップ

開催日 7月20日(土)、23日(火)~28日(日)
内 容 博物館やもの作りアーティストなど21団体による32種類のワークショップ。

参画団体 吉野ヶ里歴史公園、九州国立博物館、九州歴史資料館、小郡市埋蔵文化財調査センター、佐賀県立博物館・美術館、中富記念くすり博物館、甘木歴史資料館、太宰府木うそ保存会、てんとう虫とクローバー、pucci、Shoka、縁 Enishi Flower、Pastel、anko*、Craft・ichigo、Maple Leaf、アトリエ MISHMASH、Craft／にじのたね、アトリエ月の猫、編み物教室 amo-knit、九州大学筑紫キャンパス（順不同）

参加数 のべ2,484名



縁日屋台

開催日 7月20日（土）、23日（火）～28日（日）

内容 射的・スマートボール・千本つりの祭でお馴染みの縁日屋台。第4回特別展「TOYS EXPO」観覧者及びスタンプラリー参加者に参加券を配布。



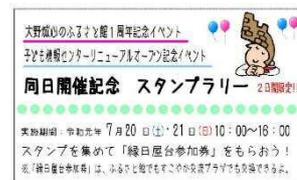
参加数 のべ8,908名

スタンプラリー

開催日 7月20日（土）※21日（日）は大雨による臨時休館に伴い中止。

内容 リニューアルしたすこやか交流プラザ（子ども情報センター）と当館の回遊性を高めるためのスタンプラリーを実施。達成者には縁日屋台参加券を交付。

参加数 681名



昔遊び体験

開催日 7月20日（土）、23日（火）～28日（日）

内容 お手玉、めんこ、かるたなどの懐かしい昔遊びの体験。

参加数 約500名

特別歴史講座「芝居 de 歴史」

開催日 8月18日（日）

※7月21日（日）の大雨による臨時休館に伴い順延。

内容 「本能寺の変～軍師 黒田官兵衛の野望と明智光秀の正義～」と題し、歴史上の経緯や背景を踏まえた講義の中に芝居を取り入れた講演。



講師等 講師：大澤俊作氏
芝居：岡本斗志氏、チャンバラ斗志組
ドラム演奏：近藤正幸氏

参加数 96名

第 38 回おおの山城大文字まつりコラボ企画

「イニシエノナゾを解け in 大野城心のふるさと館」

開催日 ※令和元年 9 月 21 日（土）～22 日（日）に予定していたが台風 17 号接近のため開催中止
内 容 おおの山城大文字まつりとのコラボ企画。館内の 4 つの謎を解き、隠されたキーワードを見つけるクイズ企画。正解者には「心のふるさと館特設縁日屋台（射的・スマートボール）」または大野城まどかぴあ南側広場に設置された「ふわふわ鉄腕アトム」の無料体験チケットを 1 枚プレゼント。

即位礼正殿の儀関連行事パブリックビューイング

開催日 令和元年 10 月 22 日（火・祝）
内 容 天皇陛下の御即位を公に宣名される即位礼正殿の儀に伴う祝賀として、関連行事のパブリックビューイングを 1 階大野城ダイナビジョンで実施。10 月 19 日～25 日は、市総務課が館内に国旗及び記帳所を設置した。



ここふるハロウィン 2019

開催日 令和元年 10 月 25 日（金）～31 日（木）
内 容 ジョーヘッド（大野ジョーになりきる紙製の被り物）を着用した参加者が館内に隠されたキーワードを探しだす「仮装&キーワード企画」と、1 階の撮影スポットで撮影した写真を SNS に投稿または当館 SNS アカウントをフォローする「写真投稿& SNS フォロー企画」を開催。
参加数 仮装&キーワード企画：209 名
写真投稿& SNS フォロー企画：10 名



大野城ウィンターイルミネーション 2019

期間：令和元年 12 月 1 日（日）～25 日（水）
まどかぴあ南側広場でのイルミネーション点灯を中心とした、当館と大野城まどかぴあ、大野城市社会福祉協議会との連携イベント。



大野城ウィンターイルミネーション限定 SNS 写真投稿ブース

内 容 期間中、1 階の撮影スポットで撮影した写真を SNS に投稿、または館スタッフが撮影した写真を館内に掲示させていたいただいた方にここふるショップのドリンク割引券をプレゼントした。
参加数 22 名（SNS 投稿 10 名、撮影写真掲示 12 名）



ここふるショップクリスマスフェア

内 容 期間中、ここふるショップ内がクリスマス一色に！限定カフェメニューも提供。12月21日（土）は、カフェコーナー参画団体「グループAN」によるクリスマス限定スペシャルディナーを提供した。



福岡女学院大学 Hand Bell Concert

開催日 12月7日（土）

内 容 福岡女学院大学ハンドベル部によるクリスマスハンドベルコンサート。

観覧数 151名



Cocofuru Winter Live Show 2019

開催日 12月15日（日）

内 容 大野城市在住のシンガーソングライターHIMIKO氏による、世代を越えて広く親しまれている洋楽を中心とした全8曲のコンサート。

観覧数 163名



ここふる星の世界

開催日 12月21日（土）

内 容 冬の星座や関連するギリシャ神話を交えた講演会。

観覧数 28名

講 師 梶幸男(大野城市教育委員会教育指導室長)



サンタクロースがやってくる

開催日 12月21日（土）～22日（日）

内 容 1階の撮影スポットでポラロイドカメラを使用した、サンタクロースとの記念撮影を行った。また、開催中の第5回特別展「縄文王国やまなし」の限定リストバンドを製作した人には、写真とクリスマスプレゼントを渡した。

参加数 85名



祝・新成人フォトスポット

開催日 1月13日（月・祝）

内 容 成人式限定背景を大野城ダイナビジョンに表示し、ポラロイドカメラで撮影した写真をプレゼントした。また、電子黒板で、新成人のつどい実行委員会作成の卒業アルバムフォトムービー及び恩師ビデオレターを上映。



参加数 6名

バレンタインデー&ホワイトデー企画「お花をつくって大切な人に贈ろう」

期 間 2月8日(土)～16日(日)

※3月7日(土)～15日(日)は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

内 容 紙とストローでできた花をふるさとラボでラッピングし、オリジナルのメッセージカードと共に大切な人に贈る「花作り&メッセージカードプレゼント企画」と、1階の撮影スポットで撮影した写真をSNSに投稿または心のふるさと館SNSアカウントをフォローする「写真投稿&SNSフォロー企画」を開催。



参加数 花作り&メッセージカードプレゼント企画：243名

写真投稿&SNSフォロー企画：2名



4-2 つながる事業

当館のキーワードである「歴史」「こども」「にぎわい」を基に、世代を超えた交流の展開のため、多様な主体の参画による運営を目的とした、つながる事業を実施している。一定の要件を満たした個人や団体等から非営利を目的とした公益性の高い事業を募り、市と共働で事業を行うことで、新たなまちのにぎわいや人の交流の創出を図っている。 ※(◎)は昨年度から引き続き実施したもの。

梅野春幸の手仕事展

期 間 平成31年4月9日(火)～4月21日(日)

内 容 部材の1つ1つを手作りし、城や寺などの建築物をスケールダウンした構築物を製作する梅野春幸氏の作品(熊本城・鞠智城)を展示。ここふるショップ被災地応援フェア、熊本地震関連パネル展、観光パンフレット・募金箱設置などの熊本地震被災地応援イベントも同時開催。展示期間に熊本地震発災日を含んでいたため市民の関心が高く、熊本県に縁のある方から喜ぶ声も聞かれた。



小さな『がらがらどん』と人形劇団プークがやってくる!!

開催日 平成31年4月21日(日)

内 容 大野城子ども劇場主催の北欧民話「三びきのやぎのがらがらどん」の人形劇と絵本の読み聞かせ。当館初の人形劇の開催。

第23回大野城市美術協会展 ～今日からはじまる～

期 間 令和元年5月1日（水）～5月6日（月）

内 容 2年に1度、大野城市美術協会が主催する絵画、写真、書などの展示会を大野城まどかぴあ（会員作品）と大野城心のふるさと館（協会理事作品）の2会場で開催、2会場を回ると美術協会オリジナルのしおりをプレゼントする企画を行った。改元に伴う大型連休での開催となり、多くの来場があった。

おおのじょうふるさと作家アート展

期 間 令和元年5月28日（火）～6月2日（日）

内 容 （一社）大野城市にぎわいづくり協議会主催による、まちの宝びとの魅力を発信する展示。絵本作家の摩呂子氏、いきもの画家の POPPO 氏が描いた数々の心温まる優しい作品の展示のほか、ワークショップや大野城ダイナビジョンを使った絵本の読み聞かせを開催。

ボタニカルアートを楽しむ会

期 間 令和元年5月28日（火）～6月9日（日）

内 容 薬草等を精緻に描写したボタニカルアートの紹介。正山征洋氏（九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授・同特任教授）所蔵の18世紀から19世紀にかけて描かれた貴重なボタニカルアートを大野城コレクションで展示。講演会「ボタニカルアートと薬草講座」には、遠方からの参加者も多く見られた。



ニヤるほど!!ねこパネル展

期 間 令和元年8月6日（火）～8月18日（日）

内 容 （一社）福岡ねこどもの会主催による、猫との共生社会を目指し、地域猫活動への理解と動物愛護の啓発を行うパネル展示と動物愛護活動に取り組む団体代表者等を講師とした講演会を開催。

水城跡のあかり展

期 間 令和元年9月7日（土）～9月8日（日）

内 容 1350年以上前に整備され、現在もその姿をとどめている特別史跡「水城跡」。地域の人々が長年受け継いできた水城跡への想いを伝え、子どもたちが将来まちの宝である水城跡を守り伝えていくことを願って、水城跡のあかり実行委員会主催による平成30年度「水城跡のあかり」の写真展示と令和元年度開催時に使用する紙灯明への絵描き体験ワークショップを開催し、「水城跡のあかり」のPRを行った。

おおのじょうふるさと作家アート展 - 美と技〔ART〕の世界 -

期 間 令和元年9月10日（火）～9月15日（日）

内 容 （一社）大野城市にぎわいづくり協議会主催のまちの宝びとの魅力



を発信する展示。大谷京子氏（Atelier 月の猫）によるソーパークーピング作品、百武晶奈氏（縁 Enishi Flower）によるアーティフィシャルフラワー作品の鮮やかで可愛らしい展示のほか、作家によるワークショップを開催。ワークショップには59名の参加があった。



大野城4人のアーティスト展

期 間 令和元年9月18日（水）～29日（日）

内 容 大野城市に縁のあるアーティスト、城戸佐和子氏・松澤亜州沙氏・小幡宏清氏・星先こずえ氏（順不同）の4人の作品を展示。

木とスーパー竹とんぼ教室

期 間 令和元年10月12日（土）～10月13日（日）

内 容 中村均氏（国際竹とんぼ協会会員）主催による竹とんぼの歴史と作り方の継承を目的とした教室。伝承を目的とした伝承コースと作って遊ぶことを目的とした親子コースを開催。出来上がった竹とんぼの大文字公園での試験飛行では、一般的な竹とんぼよりもとても高く跳ぶスーパー竹とんぼに参加者からは歓声が上がっていた。



こばやし造形教室 グループ絵画展

期 間 令和元年10月22日（火）～11月4日（月）

内 容 市内で絵画教室等を開く、会員の多くが市民であるこばやし造形教室による絵画展を市民の創作活動の発表の場として開催。小学生から高齢者まで、幅広い年代の会員の作品が展示された。

MOA美術館福岡児童作品展 大野城地域展 (◎)

期 間 令和元年11月1日（金）～10日（日）

内 容 MOA美術館福岡児童作品展の入賞作品のうち、大野城市の子ども達の作品を展示する地域展。特別賞（市長賞・教育委員会賞・大野城心のふるさと館賞・審査委員賞）、金賞、銀賞、銅賞の作品計36点を大野城コレクションで展示。まどかフェスティバル開催期間中の11月2日に館内で特別賞表彰式を実施した。



まちかど美術館

期 間 令和元年11月2日（土）～10日（日）

内 容 市内の小学2年生から「わたしの夢（なりたい仕事）」を題材に絵画を募集し、市内4商店会の各店舗に展示する、大野城市商店会連合会による「まちかど美術館」の応募作品のうち、商工会長賞や市長賞など受賞作品39点を講座学習



室前で展示。前年度に引き続きの実施であるが、つながる事業としての実施は今回が初。「M
O A美術館福岡児童作品展 大野城地域展」との同時開催による相乗効果も見られた。

おおのじょうこども商店街 (◎)

期 間 令和元年11月2日(土)～3日(日)

内 容 小学生に仕事体験と社会の仕組みに関心を持ってもらうため、働いてお金を得て、そこから税金を支払うという流れを疑似体験できる体験会を大野城市商工会商業部会主催で「産業展」と同時開催。参加者には体験終了後、産業展で使用できるクーポン券が渡された。2日は13名、3日は23名の計36名の参加があった。

童謡コンサート 日本の心 わらべの心 (◎)

開催日 令和元年11月9日(土)

内 容 合唱グループ「日本の心を歌う会さくらんぼ」による幅広い年代が楽しめる童謡コンサート。龍笛(雅楽で使う管楽器)や二胡(中国の弦楽器)などの演奏も実施。一体となって楽しめるよう、観覧者には歌詞カードを配布した。

大野城の宝フォトコンテスト 2019

期 間 令和元年12月3日(火)～8日(日)

内 容 (一社)大野城市にぎわいづくり協議会主催による、市内の風景写真など、街の魅力を伝えるフォトコンテスト。

商工会青年部餅つき大会 (◎)

開催日 令和元年12月15日(日)

内 容 大野城市商工会青年部主催による市民交流の促進を目的とした毎年恒例の餅つき大会。親子連れなどの幅広い世代188名の来場があった。

コワーキングスペース「ままいる一む」 (◎)

開催日 全8回〔令和元年6月21日(金)、7月5日(金)、9月20日(金)、10月18日(金)、11月4日(月)、12月6日(金)、令和2年2月21日(金)〕

※3月10日(金)を新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

内 容 家庭などで保育をする人達のための育児と仕事の両立支援等を目的とした託児付コワーキングスペースの提供。参加数はのべ50名で、保育をする人の居場所作りとして定期的開催しており、パソコンインストラクターの配置や講座の開催などの新しい企画にもチャレンジした。本事業の認知度向上に繋がるよう、特にPR面での協力を図っている。

4-3 施設貸出

一般利用者向けに講座学習室及び大野城コレクションの有料貸出を行っている。また、館の活用促進のため、大野城市役所の各部署や市立小・中学校の事業を館内で実施する活用事業や様々な団体と共催するつながる事業による貸出も行っている。

平成 31 (2019) 年度年間実績	講座学習室		大野城コレクション		
	一般貸出	活用事業	一般貸出	活用事業	つながる事業
申込件数	78 件	55 件	1 件 (15 日)	3 件 (132 日)	2 件 (23 日)
使用料収入	121,980 円	—	14,550 円	—	—

4-4 ここふるショップ

心のふるさと館オリジナルグッズ、大野城市の特産品・推奨品、大野ジョーグッズ、被災地（東北地方、熊本県）特産品・名産品、市内福祉団体商品等を販売するミュージアムショップと、大野城市のソウルフードである「大野城鶏ぼっかけ」や市内の参画団体によるランチを提供するカフェ、出店者の手作り商品の受託販売ができるチャレンジスペースブースを併設している。被災地特産品・名産品の売上収益は、各被災地へ義援金として送付している。

開店日・時間・客席数

心のふるさと館開館日の 10 時～18 時 客席数/28 席 お子様用椅子/4 脚

カフェ ランチタイム 11 時半～14 時半 オーダーストップ 17 時半

4 団体にて日替わりランチメニューを提供。平成 31 年度参画団体は下記のとおり。

SBY スイミング、沖縄料理 安、グループ AN、(特非) 木もれ日カフェヒュッテ (順不同)

チャレンジスペースブース

ショップ内に設置している専用のアクリルボックスを貸出している。手作り商品や作品をボックス内に自由にレイアウトした展示・販売活動ができる。1 回あたりの貸出期間は 3 ヶ月としている。

平成 31 (2019) 年度貸出実績	登録料	利用者数	出店期間 (全 4 期)
A (縦 34.4cm×横 29.4cm×奥行 27cm)	3,000 円	45 名	4 月 18 日～7 月 17 日 7 月 18 日～10 月 9 日
B (縦 34.4cm×横 59.4cm×奥行 27cm)	5,000 円	35 名	10 月 10 日～1 月 7 日 1 月 8 日～3 月 31 日

被災地への義援金

平成 31 (2019) 年度総額 : 516,347 円

(内訳)	金額	活用先	用途
東北地方	395,482 円	(社福) 三心会	岩手県下閉伊郡山田町第一保育所への遊具設置
熊本県	120,865 円	南阿蘇村	村営複合施設への図書室設置

5 他機関との連携・交流

5-1 大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定

平成30年度実施の第2回特別展「再々発見！古代山城と水城・大野城」での国立公州大学校博物館所有の文化財借用を契機として、両館の学術文化交流の推進を目的とした協定（平成30年10月10日から5年間）を締結している。

本協定に基づいて、調査研究、収集、保存、展示、活用等に関して、両館の研究者や職員等の交流、情報交換を目的とした「公州大学校博物館連携事業」を令和2年度から4年計画で実施予定。その事前協議及び調査として、当館から館長以下3名が令和元年10月29日～令和元年10月31日に大韓民国国立公州大学校博物館、国立中央博物館、益山市王宮里遺跡・弥勒寺跡を訪問した。

5-2 視察等受入

平成31（2019）年度に受入した視察は以下のとおり。

視察日	受入団体	人数
7月12日（金）	三重県三重郡菟野町議会 教育民生常任委員会	6
7月31日（水）	福岡県文教委員会	19
8月7日（水）	愛知県豊田市議会自民クラブ議員団教育社会部会	5
8月8日（木）	愛知県豊田市郷土資料館	2
9月3日（火）	稼ぐ鹿島市を目指すプロジェクトチーム	5
11月6日（水）	笛吹市・甲州市組合立釈迦堂遺跡博物館	20
11月8日（金）	東京都荒川区文教・子育て支援委員会	17
1月24日（金）	茨城県ひたちなか市公明党議員団会派	3
1月31日（金）	大分県中津市歴史博物館	7
2月7日（金）	福島県郡山市	3
2月18日（火）	長崎県松浦市教育委員会文化財課	2
2月20日（木）	福岡県福智町図書館・歴史資料館ふくちのち	20

6 市民・地域との連携

6-1 ふるサポの会

当館は市民をはじめとした多様な主体が参画する運営を基本としているため、その一環として、16歳以上の市民等によるサポーター制度「ふるサポの会」を導入しており、サポーターが展示解説やワークショップ・事業運営・ここふるショップ&カフェの支援を行っている。サポーター活動を行う上で必要な入門研修や特別展・館外ガイドなどに特化したスキルアップ研修を定期的実施するほか、サポーターがそれぞれ有する様々な知識・経験を活かした活躍の場を広げるための環境整備を進めている。

会員数 (令和2年3月31日現在)	サポーター活動回数(年間)	
	のべ活動回数	開館日数
94名	1,559	276

サポーター発案事業		
開催日	内容	開催回数
4月27日(土)	紙芝居	2
4月29日(月・祝)	マジックショー	2
5月2日(木)	紙芝居	2
7月7日(日)	紙芝居	2

サポーター研修		
No.	研修内容	実施回数
1	入門研修	7
2	スキルアップ研修(館内ガイド)	2
3	スキルアップ研修(第3回特別展)	3
4	スキルアップ研修(第4回特別展)	4
5	スキルアップ研修(第6回特別展)	3
6	スキルアップ研修(館外ガイド:水城跡,大野城跡)	5

※第5回特別展はサポーター活動対象外としたため実施なし。

6-2 友の会

来館の促しを目的に、心のふるさと館に関する情報提供などを行う友の会を発足している。

会員数:1,478名(令和2年3月31日時点)

うち、平成31(2019)年度新規入会者数 452名

入会費:200円(年会費なし、有効期限なし)

特典	<ul style="list-style-type: none"> ・会員カードの交付（利用や活動に応じてスタンプを貯め、スタンプ数に応じてオリジナルグッズと交換できる） ・イベント等の事業情報のメール配信 ・特別展内覧会の案内 ・特別展観覧の友の会料金適用
----	--

友の会会員カード

(表)



(裏)



6-3 山城楽講

市の史跡案内ボランティアを養成し、イベント等で活動を行っている。年間6回の定例会のほか、講座の受講、研修等を実施している。令和元年10月からは4期生の養成研修を開始した。

会員数：23名（令和2年3月31日時点）

活動イベント	実施日	内容	活動人数
善一田古墳公園 オープニングイベント	4月27日(土)	善一田古墳公園の来園者に対する公園内古墳の解説。	10
善一田ナイトトリップ	7月27日(土)	善一田古墳公園の来園者に対する公園内古墳の解説。	3
大野城跡ウォーキング	10月12日(土)	大野城跡の史跡めぐりイベントでの解説。	1

養成研修等	実施日等	内容	活動人数
定例会	年間6回	ガイド資料作成、研修等	のべ65
館長講座	9月25日(水)	館長講座「邪馬台国について～大野城は奴国の一部であった～」主催	53 (うち一般参加者36)
現地研修会	10月21日(月)	行橋市御所ヶ谷神籠石、歴史資料館での研修	17
4期生研修	10月23日(水)	開講式	11
	11月15日(金)	大野城跡での実地研修（太宰府口城門など）	11
	12月20日(金)	大野城跡での実地訓練（太宰府口城門など）	12
	1月17日(金)	大野城跡での実地研修（水城口城門など）	11
	2月21日(金)	水城跡での実地研修（西門跡など）	11

※令和2年3月実施予定の4期生研修は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

7 情報発信・広報

7-1 情報発信・広報ツールの活用

公式ウェブサイトやSNS、館内の大画面モニターを通じて随時最新の情報発信を行っている。

公式ウェブサイト

<http://www.onojo-occm.jp/>

SNS

フォロワー数 (令和2年3月31日時点)	LINE	Instagram	Twitter	Facebook
	291	344	260	344

大野城ダイナビジョン

館内に設置している大画面モニター。通常利用のほか、イベントでの映像放映等を行っている。

通常利用	内容
スライドショー	「大野城の歴史」市の歴史に関する情報
	「観光とまち歩き」市の特産品などの地域資源、トレイルコースの情報
	「大野城NOW」市の公共施設や団体の紹介
	「ここふるカフェ」当館1階ここふるショップカフェコーナーのメニュー情報
ゲーム	「with ジョー」動感センサーと連動したタッチゲーム
	固定カメラと連動した全5問のクイズゲーム
	市PRキャラクター 大野ジョーのアニメーションと動感センサーが連動したダンスゲーム

7-2 発行物

機関紙「ここふるニュース」

平成31(2019)年度は3回発行。市広報紙に折込み配布を行っている。

発行日	版	主な内容	発行部数	市広報折込部数
7月1日	vol. 4	開館1周年記念特別展「TOYS EXPO」	47,500部	44,900部
11月1日	vol. 5	新発見考古速報「発掘された日本列島2019」 特別展「縄文王国やまなし」	47,500部	45,000部
3月1日	vol. 6	特別展「歴史教科書でみる考古名品」	47,500部	45,100部

大野城市の文化財

発行日	題名	発行部数
3月31日	第50集 まぼろしの思水園	1,000部

8 資料収集・貸出

8-1 資料の収集

平成 31（2019）年度の寄贈資料は以下のとおり。

資料名	詳細	点数	寄贈者
須恵器	小隈窯跡をはじめとする須恵器採集資料。	12 箱	個人
乙金宝満神社絵馬 （夏越し祓い祇園踊りの絵馬）	拝殿に掲げられていた絵馬。江戸時代後期の天保 2（1831）年博多の町絵師、村田東圃氏によって描かれたもの。大野城市指定文化財。	1 点	乙金宝満神社氏子会
電話帳	昭和 48 年のもの。	1 点	個人
古写真	昭和天皇御大典奉祝（昭和 3 年 11 月）の奉祝どんたくに「雑餉隈」「雑餉組」として参加した際の集合写真と推定される。	1 点	個人
消防団団服	大野町時代に使用されていた大野町消防団第一分団副分団長の団服。	1 式	個人
靴	戦時中、満州にいた頃に入手したもの。旅順の刑務所で作られたものではないか。靴底が古タイヤ（Fire stone 社製）で作られている。	1 点	個人
須恵器	大字牛頸にて昭和 50 年代に採集したもの。採集地は埋蔵文化財包蔵地「石坂窯跡群」に含まれる。杯蓋 5 点（うち 4 点完形）、杯身 3 点（うち 2 点完形）、高杯 2 点、甕 1 点。	11 点	個人
タイガー魔法瓶	メーカー問合わせの結果、昭和 58 年 7 月製造と推定される。	1 点	個人
食卓覆い	平成に入ってから、寄贈者が購入したもの。	1 点	個人
割烹着	裾丈 85cm と 100cm が 1 点ずつ。100cm の割烹着の方が古く、着物の裾丈に合わせたものと想定される。	2 点	個人
SP レコード	カナリヤレコード発売のピクチャーレコード。昭和 28～31 年の期間に発売されたものと想定される。	10 点	個人

8-2 資料の貸出

平成 31（2019）年度に行った資料貸出は以下のとおり。

出土遺物

資料名	点数	貸出先	使用目的
牛頸中通 10 号墳出土石製丸玉	1 点	九州歴史資料館、福岡市埋蔵文化財センター	新修宗像市史『海の道・陸の道』の刊行に係る科学的分析等
牛頸窯跡群出土須恵器	27 点	九州歴史資料館	九州歴史資料館展示室での展示
牛頸日ノ浦遺跡群出土須恵器	2 点		
塚原遺跡群出土須恵器	1 点		

目加田家寄贈資料

資料名	点数	貸出先	使用目的
『北平日記』・周作人掛軸・孫權第「李笠翁十二樓」	1点	九州大学附属図書館	論文抜刷

画像資料

資料名	点数	貸出先	使用目的
仲島遺跡出土人面墨書土器	3点	九州国立博物館	大宰府史跡指定 100 年記念特別展示「筑紫の神と仏」に係わる展示解説・図録・広報への利用
百間石垣 石罫	1点	(株)ユニット	テレビ東京「TV チャンピオン極」番組内使用
大野城跡	1点		
大野城跡・水城跡 (航空写真)	1点	(株)はる制作室	宝島社刊『TJ MOOK 最新調査でわかった日本の古代史完全保存版』掲載
山の神 祠	1点	(株)ネスタ	マルコメ特設サイトへの記事掲載
山の神 食事	1点		
大野城跡・水城跡 (航空写真)	1点	(株)はる制作室	宝島社刊『TJ MOOK 最新調査でわかった日本の古代史完全保存版』掲載
	1点	(株)山川出版社	『新版 図説 歴史散歩辞典』掲載
	1点	(株)小学館	『キッズペディア歴史館～日本と世界の大事事件』掲載
人面墨書土器	4点	NHK 大阪拠点放送局制作部	NHK スペシャル「正倉院」の制作のため ※放送中止
雑餉隈遺跡 VOC 銘染付皿	1点	東洋陶磁学会	東洋陶磁学会会報第 92 号に使用
雑餉隈遺跡 VOC 銘染付皿(出土状況)	1点		
雑餉隈遺跡 VOC 銘染付皿(実測図)	1点		
水城跡	1点	(株)ベネッセコーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション発行の教材「2020年度 Challenge 社会」で使用
水城跡 (航空写真)	1点	KBC 九州朝日放送(株)	サワダデース ふるさと Wish アイタカー中継内で使用
	1点	(有)三猿舎	講談社刊『日本の歴史』2巻の口絵として使用
	1点	(株)増進堂	小学生向け社会科教材に掲載
善一田 26 号墳三累環頭大刀	1点	古代歴史文化協議会	古代歴史文化協議会第 4 回講演会「刀剣が語る古代国家誕生」講演録に掲載
大野城市内の風景	35点	筑紫地区小学校社会科副読本編集委員	社会科副読本に掲載
大野城市の田園風景	2点	NHK プラネット九州支社	TV 番組インサート映像で使用
大野城市内・市外の風景	35点	(有)樹林舎	『筑紫・太宰府の昭和』に掲載

9 文化財調査・整備

9-1 文化財の調査

平成 31（2019）年度の実施調査は以下のとおり。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
谷蟹遺跡群第 2 次調査（緊急調査）	旭ヶ丘 1 丁目	4 月 22 日 ～11 月 5 日	8206.6 m ²	焼土坑 3 基、土坑 2 基を検出。焼土坑は木炭や土器の生産に関わる遺構と推測され、須恵器以外の生産活動を解明する上で重要な成果を得た。
大道端遺跡第 1 次調査（緊急調査）	白木原 4 丁目	5 月 27 日 ～8 月 8 日	1,600 m ²	古墳時代前期の竪穴建物を 1 棟を検出。対象地北側に位置する同時期の集落の広がりを示すものとみられる。
御笠の森遺跡第 19 次調査（個人住宅）	山田 3 丁目	8 月 19 日 ～9 月 13 日	66 m ²	古代・中世の土坑やピットを検出。御笠の森遺跡東部における遺構の展開を把握した。
長者原窯跡確認調査（史跡整備に伴う確認調査）	大字 牛頸	6 月 24 日 ～1 月 10 日	80 m ²	奈良時代後半の須恵器窯跡 4 基を確認。12 月 21 日（土）10～12 時で現地説明会を実施（参加数：59 名）。
水城跡第 64 次調査（史跡整備に伴う確認調査）	下大利 3 丁目	12 月 7 日 ～3 月 30 日	300 m ²	欠堤部における外濠や土塁北側に張り出す平坦部の構造及び築造時期を明らかにした。

平成 31（2019）年度の文化財調査報告書は以下のとおり。

発行日	題名	発行日	題名
3 月 31 日	第 176 集 谷蟹遺跡群 1	3 月 31 日	第 179 集 石勺遺跡 8
	第 177 集 後原遺跡 5		第 180 集 上大利小水城跡 2
	第 178 集 宝松遺跡 2		第 181 集 金山遺跡 3

平成 31（2019）年度の資料調査の受け入れは以下のとおり。

受入日	対象資料	依頼者
5 月 24 日	ヒケシマ遺跡・薬師の森遺跡・御供田遺跡・王城山遺跡・善一田遺跡出土滑石製品	1 名
9 月 24 日	御陵前ノ椽遺跡出土弥生土器	1 名
10 月 7～9 日	野添窯跡群・後田窯跡群・小田浦窯跡群出土須恵器	1 名
11 月 25 日・27 日	野添窯跡群出土須恵器	1 名
1 月 17 日	御陵古墳群・森園遺跡出土玉類	1 名
1 月 24 日	本堂遺跡出土須恵器	1 名

受入日	対象資料	依頼者
1月28日	月ノ浦窯跡群出土鴟尾	1名
1月29日	石勺遺跡D地点出土滑石製品	2名
2月17日	原口遺跡・古野遺跡出土玉類	1名
2月20～21日	月ノ浦窯跡群・小田浦窯跡群・野添窯跡群・大浦窯跡群出土瓦	2名
3月12日	本堂遺跡出土瓦塔	1名
3月19日	小田浦窯跡群出土須恵器	2名

平成31(2019)年度のその他調査・照会等

試掘調査	埋蔵文化財照会	遺物保存処理
55件	1,201件	善一田遺跡第4次調査鉄製品9点(馬具:8点、鉄斧:1点)

9-2 文化財の指定

水城跡追加指定

平成31(2019)年度は、水城跡に3筆768.17㎡を追加指定した。これによって、水城跡の合計指定面積は263,798.64㎡(大野城市72,620.68㎡、太宰府市164,140.09㎡、春日市27,037.87㎡)となった。

指定日	追加指定地番	地目	面積
3月10日	大野城市下大利四丁目10-15	宅地	227.78㎡
	大野城市下大利四丁目10-14	宅地	209.80㎡
	大野城市下大利四丁目10-8	宅地	330.59㎡
合 計			768.17㎡

新規指定文化財

平成31(2019)年度は、新たに上大利老松神社門礎(唐居敷)を大野城市有形文化財として指定した。水城築造時に限りなく近い時期の門礎であり、かつ水城(小水城含む)の門に伴う可能性が高い点で非常に重要な文化財である。これにより、市指定文化財は16件(17種)となった。

指定日	種別	名称	所在	所有者
2月18日	有形文化財	上大利老松神社門礎 (唐居敷)	上大利3丁目176-1 (上大利老松神社境内)	上大利老松神社



上大利老松神社門礎

9-3 文化財の整備

平成 31（2019）年度に行った史跡整備関連事業は以下のとおり。

事業	内容
水城跡整備事業	西門跡周辺広場の整備工事に向けた測量・実施設計
	西門西側の樹木整理工事
牛頸須恵器窯跡整備事業	石坂窯跡、長者原窯跡に調査成果を紹介する解説看板を設置
	小田浦窯跡の樹木整理工事
市内遺跡解説設置事業	「上大利老松神社礎石」、「溜井の碑」解説看板の改修

平成 31（2019）年度に行った災害復旧事業は以下のとおり。

事業	内容
善一田古墳公園災害復旧事業	令和元年 7 月の大雨によって崩落した法面の復旧・対策工事
小田浦窯跡災害復旧事業	令和元年 7 月の大雨によって流出した法面の復旧・対策工事

10 施設管理

10-1 I P M管理

心のふるさと館文化財環境対策会議を設置し、館内のI P M管理について毎月検討を行っている。

平成 31 (2019) 年度の取組	内容
温湿度管理	データロガーの設置による展示ケース等の温湿度情報の継続計測
特別収蔵庫及び展示ケース内の環境管理	定期的な温湿度計測及び害虫調査、パッシブインジケーターを使用したケース内の有機酸及びアンモニアの濃度計測、特別収蔵庫の定期的な清掃、特別展開催後の展示ケースの清掃
燻蒸	第4回特別展の借用資料に対して燻蒸を実施。 期間：7月10日(水)～13日(土) 使用薬剤：エキヒュームS
保存環境調査	第7回特別展に向けた国指定文化財の借用公開に係る保存環境調査を実施。調査結果について、国立文化財機構及び東京国立博物館から助言を受けた。
害虫トラップ調査等	館内69か所(9月以降70か所)に害虫トラップを設置、毎月1回計測。その他、侵入した害虫等を捕獲・記録し、必要に応じて対応した。
その他	職員及び展示業務に従事する委託者の室内履きの徹底、収蔵庫専用履物の設置、防塵マットの設置、生花・動物・虫等の持ち込み制限(生花のみ、やむを得ない場合は袋等で包む対応)、2階及び3階の展示エリアでの飲食禁止等の徹底

10-2 危機管理

自衛消防隊として非常時に迅速な初動と的確な活動を行うため、職員による火災を想定した総合避難訓練を実施。

実施日：令和元年6月10日(月)

訓練内容	
講義	「自衛消防隊の編成と任務」、「館内の消防設備」、「避難経路の確認」 「焼失させてはならない展示・収蔵物、重要書類等の確認」、「監視カメラ」
消火設備の確認 ・放水訓練	「消火設備の位置確認」「消火設備の誤作動とその解除方法」 「ハロゲン化物消火設備の操作方法」「防火戸・防火シャッターの操作方法」 「消火栓の放水訓練(1階授乳室前消火栓→駐輪場前へ放水)」
複合火災受信設備・ 非常放送設備の操作	「館内アナウンスによる来館者への情報提供と混乱防止」 「作動中の消火設備の確認」「誤作動の場合の解除方法と館内アナウンス」

11 統計

11-1 施設利用状況

(1) 平成 31 (2019) 年度月別入館者数等

月	入館者		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	入館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
4月	26	8,055	892	7	92	4	342
5月	27	7,466	724	10	131	27	1,523
6月	26	7,839	975	10	149	20	1,643
7月	25	13,464	1,160	9	185	9	3,942
8月	25	12,033	1,603	13	340	25	6,026
9月	24	7,956	1,260	10	233	1	737
10月	27	7,668	1,299	10	224	3	175
11月	26	10,118	879	9	141	26	1,149
12月	23	8,231	931	8	130	19	994
1月	23	7,408	891	6	81	12	1,139
2月	24	8,742	1,516	10	200	22	2,200
3月	0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う臨時休館					
合計	276	98,980	12,130	102	1,906	168	19,870

※臨時休館日数：31日（大雨、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）

(2) 累計入館者数等

年度	来館者数		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	来館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
平成 30 (2018)	212	73,642	6,829	84	1,322	128	6,304
平成 31 (2019)	276	98,980	12,130	102	1,906	168	19,870
合計	488	172,622	18,959	186	3,228	296	26,174

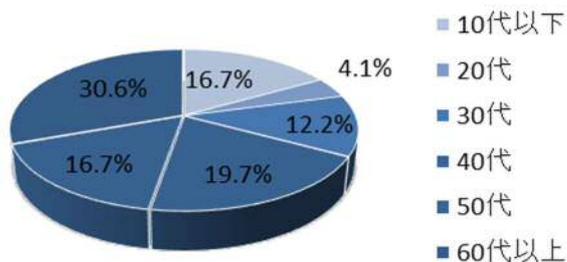
※平成 30 年度は 7 月開館以降の数値。ふるさとラボ入場者数は平成 30 年 8 月以降の数値。

11-2 来館者アンケート

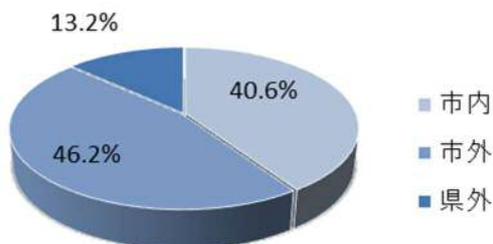
平成 31（2019）年度アンケート回収件数：2,778 件

結果は下記のとおり。（未回答除く）

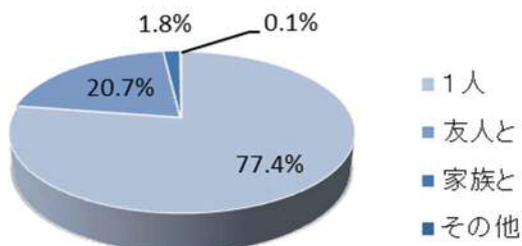
年齢



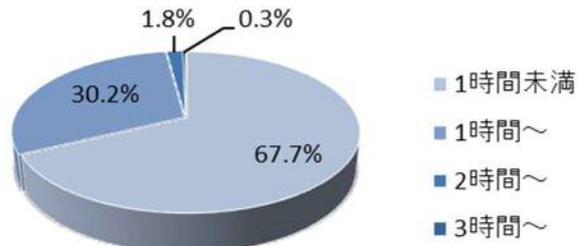
どこから来られましたか



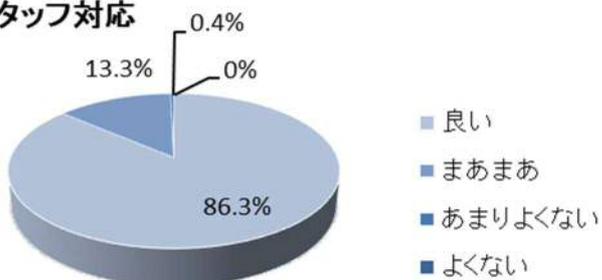
誰と来られましたか



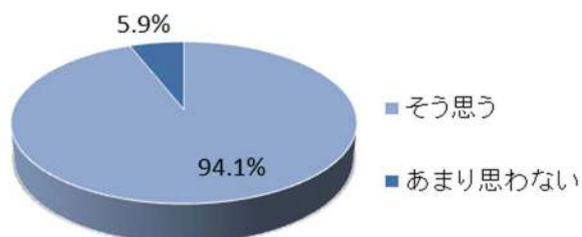
館滞留時間



スタッフ対応



また来館したいか



大野城心のふるさと館年報 2019

令和2年8月31日発行

編集・発行 大野城心のふるさと館

〒816-0934 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号

TEL : 092-558-5000 FAX : 092-558-2207

<http://www.onojo-occm.jp/>

—歴史と、まちと、人と、想いと—
「つなぐ、つながる。」
市民ミュージアム



大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

**ANNUAL REPORT
OF
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum
2019**